

<総計欄> 3月の仕入量は169,253トン前月比+12.8%、前年同月比+3.0%、販売量は172,900トン前月比+21.9%、前年同月比+11.2%。前月比では仕入量・販売量とも著増、前年同月比では仕入量は増加、販売量は著増となりました。在庫量は247,237トン前月比-1.5%、前年同月比+3.1%、在庫量は前月比減少、前年同月比増加しました。在庫率は143.0ポイントと下降しました。

2021年度第4四半期の販売量は446,732トン。前期比-5.0%、前年同期比+1.3%と増加しました。2021年度の販売量は1,850,496トン。前年度比-2.3%と減少し、昨年度同様200万トンを大きく割り込みました。様々な要因はあるものの、鉄鋼流通業界の取扱量、特に二次流通業者における在庫販売量が年々縮小していることが見てとれます。

3月の販売は稼働日の関係もありますが、年度末に加え、メーカー値上げの先高観で仮需が発生し、前月比、前年同月比ともに著増しました。需要が盛り上がっているわけではなく中小建築物は相変わらず低調に推移しています。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼22.6%著増、東京26.5%著増、大阪14.4%著増、愛知19.6%著増しました。H形鋼は25.9%著増、東京27.0%著増、大阪16.6%著増、愛知50.4%著増しています。その他品種では山形鋼23.1%著増、溝形鋼20.7%著増、コラム5.2%減少、C形鋼14.9%著増しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼7.0%増加、東京7.3%増加、大阪26.8%著増、愛知4.0%減少しています。H形鋼は2.2%減少、東京1.3%減少、大阪0.3%微減、愛知8.6%減少しています。その他品種は山形鋼3.1%減少、溝形鋼1.9%減少、コラム0.6%微減、C形鋼4.4%増加となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

